

料金別納郵便



京釜師 三代 吉羽與兵衛 展

令和6年7月26日(金)~31日(水) 会期中無休

開廊時間：午前11時~午後7時（最終日31日は午後5時まで）

作家在廊日：会期中、全日在廊予定

略歴 昭和43年 二代 與兵衛の長男として生まれる 本名征人
昭和60年 先代、先々代のもと仕事場に入る
平成3年 京都芸術短期大学（芸術学部立体専攻）卒業
平成6年 先代に師事し家業釜師の修行に入る
平成20年 三代 與兵衛を襲名 京都、東京、岡山等、各地で襲名展を催す

水無月の蒸し暑い一日、品川駅ホームで「スゴイカタイアイス」を購入して、のぞみ号に飛び乗り、一路、京都に向かいました。私と同歳の釜師である吉羽與兵衛さんと今回の個展の作戦会議を行うためです。京都駅の八条口までわざわざ出迎えに来てくれた満面の笑みの與兵衛さん。久しぶりの再会を祝し、嬉しい瞬間です。作戦会議の場所として選んでくださったのは、彼と同窓のご主人が切り盛りする美味しい和食処でした。まあ一献と勧められ（與兵衛さんは本当に勧め上手）、ついつい昼間からきこめしてしまいました（申し訳ありません）。さしづさされつ、色んな話をしました。制作活動の事、先代のお父様のこと、京都の諸事情、そして昨今の茶の湯への想いなど・・・

與兵衛さんは、京釜師として、釜など型に鉄を流し込んで作る鑄造だけではなく、うつわなど一枚の金属板を叩いて作る鍛造もなさっています。鑄造は、ご案内の通り、大変、手間のかかる工程を経て完成します。ご案内状用にと届いた裏面の清新な最新作は、湯沸かしだそうで、畳ではなく、テーブルや卓の上での茶の湯をより楽しんで欲しいという思いから作られたそうです。とても素敵な佇まいに一目惚れしてしまいました。湯切れも良く、切手の写真の様に固形燃料を入れて温める台（風炉）も付いています。この様に與兵衛作品の魅力は、洗練された造形と美しい肌合いではないでしょうか。

弊廊で六年ぶりとなる本展では、令和の時代に相応しい裏面の様な金工作品、茶の湯釜や花入など最新作40点を発表いたします。その心豊かなお人柄故に、ファンも多い與兵衛さんも全日ご在廊されます。茶の湯に親しんでおられる方も、そうでない方も、ご覧頂ければ嬉しゅうございます。暑い暑い文月の展観で誠に恐縮ですが、ご案内申し上げます。

店主 安田尚史

柿谷ギャラリー
KAKIDEN GALLERY

160-0022 東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビルB2階
03-3352-5118 gallery@kakiden.com

公式Instagram



